



少
林
寺
拳
法
塩
竈
道
院
・
仙
台
杜
都
道
院
で
は
春
の
入
会
者
募
集
を
行
っ
て
い
ま
す
。
拳
士
の
皆
さ
ん
、
近
所
の
方
、
お
友
達
や
同
僚
の
方
に
お
声
掛
け
下
さ
い
。

塩竈・仙台杜都道院 入会者募集



2025.3.26 加藤悠橙拳士の卒業祝い 古城コミセン調理室で

5月3日 仙台市大会

今年の「仙台市大会」は、5月3日(土:憲法記念日)です。毎年会場確保の都合でゴールデンウィーク真ただ中での開催ですが宜しくお願い致します。

卒業祝い開催

3月26日、仙台杜都道院の修練日を卒業祝いに変えて仙台杜都道院の加藤悠橙拳士の卒業祝い開催しました。古城コミセンの調理室をお借りし、「すき焼き」で楽しい時間を過ごしました。今後の加藤拳士の活躍を期待します。

大澤隆管長 縁起

自分自身を開花結実させるために

4月、春の訪れとともに、新たな年度が始まりました。春は色々な草花が芽吹いてくる季節です。そして進級や進学、就職、転勤、職場のメンバー編成が新しくなる等多くの人にとって新たな環境への適応や挑戦の時期となります。

自然に目を向けると、3月下旬から咲きだしたソメイヨシノが満開を迎え、徐々に散って青葉に変わっていくように、常に変化し続けています。変化を黙って見ているだけ

になつてしまえば、時の変化に流されるだけになつてしまいます。しかし、私たち門信徒はダーマの働きや縁起の法則を学んでいます。自然の流れを見てその先の変化を読むように、自分はどうなるかについていか、どういう方向に進めばよいのかを今一度整理して、今何をなすべきかを考えて進まなければなりません。



2025.3.26 加藤悠橙拳士の卒業祝い

今後の予定

- ◎ 4月27日(日) 宮城武専・昇格考試(青葉体育館)
- ◎ 5月 3日(土:憲法記念日) 仙台市大会(青葉体育館)
- ◎ 5月10日(土)～11日(日) 全国道院長研修 一次(金剛禅総本山少林寺)

何事もスタートが肝心です。自分自身の行いが将来、確実に実を結ぶように十分に準備をして、最後まであきらめずにやり抜く強い意志を持って実行していきましょう。もちろん、その過程で躓くことも出てきますが、それらもいつかは自分自身を開花させるための養分になります。少林寺拳法で困難を乗り越える力を養い、技を一つ一つ修得して自信を高めていくように、一つ一つの出来事から学びを得て自己成長につなげ、人間としての徳を高めていきましょう。

この時期は新たな仲間を増やす絶好の機会でもあります。道院長のみならず門信徒一人一人が少林寺拳法の魅力を伝え、入門者や復帰者を道院に迎え入れ、共に修



加藤悠橙初段

行する仲間を一人でも多く増やしていってください。

今月も共に金剛禅運動に邁進するとともに、新たな仲間を多く迎え入れる月にしていきたいと思います。

中国古典 紹介

ことをしよ
事を処するには心あるべからず

『宋名臣言行録』

この場合、「心」というのは、下心である。

宋代の名宰相に韓琦かんきという人物がいるが、そのかれがこう語っている。

「事を処するには心あるべからず。心あれば

自然ならず。自然ならざれば擾みだる」

ことを処理するのに、へんな下心があつてはいけない。下心があると、どうしても無理が生じ、したがって騒ぎのもとになる、というものだ。

韓琦は、こんな例をあげている。太原地

区、は昔から射術が盛んだった。その地区に長官がこれを利用しようとかかり、射術の上手な者を軍籍に入れたうえ、かれらに角弓の使用を命じた。ところがこの地方は貧

しい所で、木弓しかない。それで、人々はわざわざ牛を売って角弓を用意しなければならず、大騒ぎになってしまった。韓琦はこのエピソードを紹介したあとで、「これ有心うしんより出いずればなり」と語っている。

へたな駆け引き休むに似たり、ということである。

2025. 3. 26 加藤悠橙拳士の卒業祝い

